

茨木ある記

～茨木市北部～

●青少年野外活動センター

大きく変わる北部地区

新名神高速道路と安威川ダムの建設現場

「新名神高速道路」は名古屋市を起点として神戸市に至る延長約174kmの高速道路です。「新名神」の開通で、神戸～名古屋間は約40分所要時間が短縮され、従来の名神や中国道等の渋滞緩和にも大きく貢献します。そして茨木から全国へ、全国から茨木へのアクセスはこれまで以上によくなります。



⑧佐保川橋工事現場

柱の間隔は130～140mあり、左右両方向にやじるべえのようにバランスをとりながら梁を渡していきます。側面を波型の鋼板にすることで、軽量化に成功しているそうです。それでも柱と柱の間の構造物の重量は600トン以上です。

まず最初に訪れたのが佐保川橋工事現場です。目もくらむような高さ70数mもあるという橋げた。鉄とコンクリートを組み合わせて強度やコストを計算して進められる橋梁工事。SFの未来都市に迷い込んだような感覚にとらわれ、そのスケールの大きさに圧倒されました。トンネルと橋梁が80%を占めるという川西～高槻間21.2kmは今年中の開通を目指しています。



⑨茨木北IC(仮称)建設現場(NEXCO西日本提供)

次に千提寺「キリシタン遺物史料館」の南、千提寺菱ヶ谷遺跡の眼下に広がる広大なエリアで進められている、⑨「茨木北インターチェンジ(仮称)」の建設現場を見学しました。

見学ポイントからは、上下線の輪郭と一般道と高速をつなぐループの一部、料金所の4本の柱やパーキングエリアのトイレの建物、本線を高架で跨ぐ新設一般道(オーバブリッジ)などを確認でき、完成後の姿がおぼろげに浮かべることができます。遙かかなたには、梅田の高層ビル群や「あべのハルカス」も見渡せました。

⑩安威川ダム

昭和42年(1967年)に起きた北摂豪雨の際、安威川下流で氾濫が起り大きな被害が出たことを契機に計画されました。洪水調節、流水の正常な機能維持、河川下流の環境改善を目的とし、動植物の生息環境の保全対策にも重点をおいて取り組まれています。

「ダム」は山間部にあるというイメージでしたが、今回初めて訪れてみて、随分と市街地に近い所に建設されていることを知りました。広大な建設現場では動き回るパワーショベルやダンプカーがまるでおもちゃのように感じられました。また、ダム周辺の魅力的な地域づくりを目的として「安威川ダムファンづくり会」を立ち上げ、メンバーを募集しています。



⑩完成イメージが描かれた看板

安威川ダムファンづくり会
大阪府安威川ダム建設事務所
TEL: 072-626-6083
H.P. AIGAWA.jp



- ①de 愛・ほっこり「見山の郷」
見山地区で採れた、米、野菜、味噌、豆腐などを販売。茶店コーナーで見山の特産品を味わうことができます。
- ②竜王山(53号 平成26年4月)
茨木で最も高い単独峰で標高は510mです。
- ③忍頂寺(寿命院)(53号 平成26年4月)
薬師如来を本尊とする真言宗のお寺で、五輪塔は大阪府指定有形文化財です。
- ④権内水路(深山水路)(47号 平成24年4月)
江戸時代中期、車作の庄屋だった畑中権内が自力で開削。今なお豊かな流れを保ち、農業用水として利用されています。
- ⑤忍頂寺スポーツ公園
宿泊施設「竜王山荘」、テニスコート、ゲートボール場、多目的グラウンド他、ローラースライダーなどを備えたわんぱく広場があります。
- ⑥茨木市立キリシタン遺物史料館(60号 平成28年8月)
教科書で有名な「聖フランシスコ・ザビエル像(複製)」をはじめ、隠れキリシタンの里に伝わる遺物を展示しています。
- ⑦三島うど(61号 平成28年12月)
「なにわの伝統野菜」にも選ばれた、春を告げる茨木の山の幸。
- ⑧佐保川橋工事現場
- ⑨茨木北IC(仮)
- ⑩安威川ダム
- ⑪大門寺
771年開基といわれる真言宗御室派の仏教寺院。紅葉の名所でもあり、本堂など古い建物が残っています。
- ⑫追手門学院大学(56号 平成27年4月)
- ⑬大念寺
藤原鎌足の子定慧の開基といわれています。木造毘沙門天立像(平安期、市の指定文化財)など、文化財も多数。
- ⑭阿為神社
藤原鎌足ゆかりの神社。祭神は中臣氏の祖神であるアメノコヤネノミコトを祀っています。
- ⑮大織冠神社
大化の改新の立役者・藤原鎌足の霊廟。天智天皇が鎌足に与えた冠位「大織」から名づけられました。



茨木北IC(仮称)建設現場見学ポイントから



大阪モノレール
彩都西駅

大念寺⑬
追手門学院大学⑫ 阿為神社⑭
大織冠神社⑮

●彩都あさぎ里山公園